

「福岡市学習定着度（2年生）に関する調査」の結果について（公表）

## 1. 調査結果

以下の調査結果の公表については、福岡市教育委員会の「公表ガイドライン」に沿ってなされており、説明で使用している語句や文章表現はガイドラインに則したものです。

本校の得点結果は、福岡市の平均と比べて、国語は「同程度である」、数学は「上回っている」でした。各教科ごとの観点別・領域別正答率については、次の結果となっています。

- ①国語については、「読む能力」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」において福岡市の平均と同程度であり、学力の向上がみられますが、「話す・聞く能力」「書く能力」に努力を要します。
- ②数学については、すべての観点で福岡市の平均を上回っていました。

## 2. 分析した傾向や課題

### ①国語

#### 【話すこと・聞くこと】

話の要旨を考えながら聞きとることに課題があります。

#### 【書くこと】

記述問題に対してキーワードをもとに解答を考え、かつ文末条件等を守りながら記述することに課題があります。

### ②数学

#### 【資料の活用】

資料をもとに、割合を導いたり、2つのことがらを比較して結論を出したりすることに課題があります。

## 3. 今後の取り組み

### ①国語

- ・文章全体の要旨をとらえる発問をもとに授業を構成し、内容を確認しながら進めていくようにします。
- ・現代文に向き合う前に、そこに出てくる言葉の意味を確認することで、内容理解に役立たせます。
- ・授業だけでなく、学校生活のあらゆる場面で考えて書く活動を入れることで考えて書く習慣を身に付けさせます。

### ②数学

- ・授業の最初に、授業の進度にあわせて既習内容の理解を確認する小テストを実施します。すぐに採点を行い、生徒の正答率によって解説や生徒同士の学び合い学習を取り入れます。また、必要に応じて、昼休みや放課後に補充学習を行います。